

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：都市整備課

シート No.：89-1

作成日：2026. 4/16

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的		事務事業の目標	
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	1 背景 現在市内では約 610 件の空き家が確認されており、未確認も含めた実態数は 1,000 件以上と予想されています。これらを放置すると、災害時のリスクが高くなったり、治安の悪化につながる恐れがあります。また、空き家の所有者は遠方に住んでいることが多いため、実際に空き家を管理することが難しく、今後どのように扱ったらいいのか悩んでいる場合があります。 2 目的 空き家の管理・削減と同時に空き家の利活用を促進することで、市民と移住者にとってより良い住環境の整備を進めます。		1 防災・防犯の向上 老朽化した空き家の倒壊や不審者の侵入、放火等犯罪リスクの低減を図ります。 2 住環境・景観の維持（適正管理と啓発活動） 空き家の放置による景観の悪化や衛生問題（ゴミの不法投棄、害虫・害獣の発生）を防ぎ、快適な住環境の維持を図ります。 そのために、管理がなされていない放置状態の空家等の所有者等に適正に管理するよう指導するとともに、新たな空き家を生まない取り組みとして、市広報や出前講座等により、啓発活動を行います。	
	施策	2 住宅・宅地				
	施策内容	空き家の適正な管理の推進 空き家の可視化				
	その他、拠法令及び分野別計画等	市空家等対策計画（R5～R9）				
事務事業名		空き家対策事業				

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	代執行費用の回収 （解消するまで） （R8・9・10）	行政代執行費用の滞納者に対し、当該費用回収に伴う納付を促すため折衝を実施します。	滞納者からの回収率（％）	100	100	千円	千円
					100		
②	特定空家等の指導 （解消するまで） （R8・9・10）	特定空家等の所有者等に対し、早期に解消するよう直接訪問や電話により継続的に指導を行います。	指導数（回）	45	48	千円	千円
					48		
③	適正管理通知 （R8・9・10）	管理が行き届いていない空家等に対し、適正に管理するよう根気強く指導を行います。	反応数（件）	30	30	千円	千円
					30		
④	空き家活用基盤構築事業 （R8）	庁内関係課へのデータベース公開	公開への進捗（％）	100	－	660 千円	千円
					－		
⑤	管理不全空家等，特定空家等の認定（R8・9・10）	建築士と共に調査を行い、判定基準により認定し、空き家の早期解消を図ります。	認定数（件）	1	2	462 千円	千円
					2		
⑥	低未利用土地等の有効活用 （R8・9・10）	空家等が増加する中、譲渡所得を控除し、更なる所有者不明土地の発生予防を図ります。	申請数（件）	5	5		
					5		
⑦	空き家等管理事業者登録制度の運用 （R8・9・10）	空家等の管理を行っている事業者を登録し、相談があった場合や適正管理通知文の中で、空き家所有者等に情報提供しています。	登録事業者数（件）	22	25	千円	千円
					25		
⑧	空家等対策協議会の開催 （R8・9・10）	特定空家等の判定等について協議し、早期解決に向けた方針を定めます。	開催数（回）	2	2	130 千円	千円
⑨	空き家所有者等への啓発活動（R8・9・10）	市広報やSNSへの掲載（各1回）、出前講座開催による啓発活動（1回）により、空き家問題への意識付けを行います。	実施数（回）	3	3	千円	千円
					3		
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
③・⑨	適正に管理されていない空き家の減少（％）	空き家データベースで空き家の状態をランク付けした中で、適正に管理されていない（D Eランク）空き家の割合が、現在、全体の約 40％に及びます。啓発活動や適正管理通知により、これらの割合を下げていくことにより、市の住環境や景観の維持を図ります。	40	30		令和 9 年度
						20

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り		改善の余地	今後の方向性	
		☐ コスト		
		☐ 活動		
		☐ 成果		
		☐ その他		